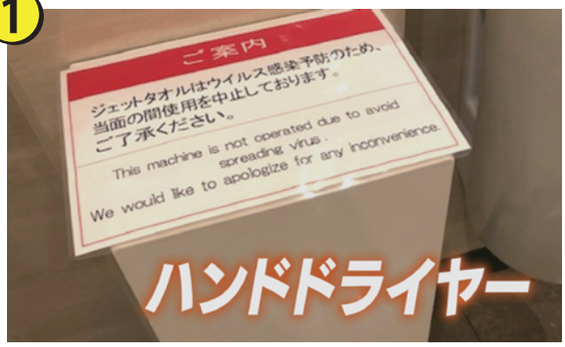
県立中部病院
（感染症専門）
椎木創一医師

感染予防を防ぐために ～正しい手の乾かし方～

感染の予防に欠かせないのが手洗いですが、洗った後に**しっかり手を乾かす**ことも、**重要**なんです

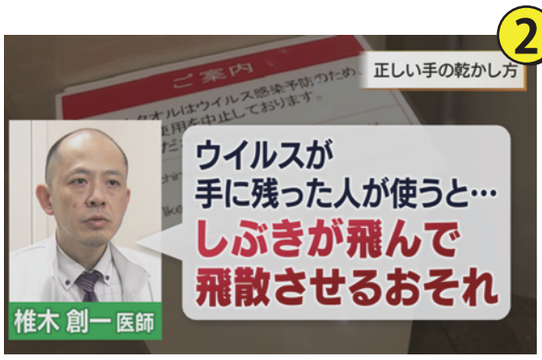
①



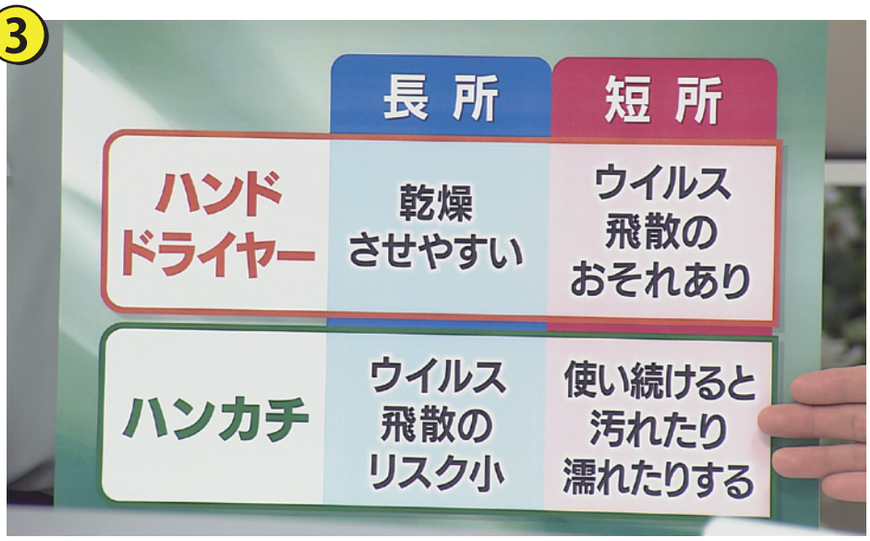
手を乾かす際に利用するのがハンドドライヤーですが、最近、商業施設などのトイレで使用を中止しているのを見かけた人も多いのではないでしょうか。「ウイルスによる感染予防のため」という注意書きがあるものもあります。使うとウイルスを広げてしまう恐れがあるのか県立中部病院、感染症が専門の椎木（しいき）医師に聞きました。

ハンドドライヤーはみんなで使うものできちんと洗えていない＝ウイルスなどが手に残った状態の人が使うと、そのしぶきが飛んでウイルスを飛散させてしまう恐れがあるということです。みんなが、しっかり手を洗ってから使うべきだということです。一方、手はハンカチで拭く、という人も多いですが椎木医師によりますと、ハンドドライヤーもハンカチも長所と短所があるのでそれを理解して使うのが大切だということです。

②



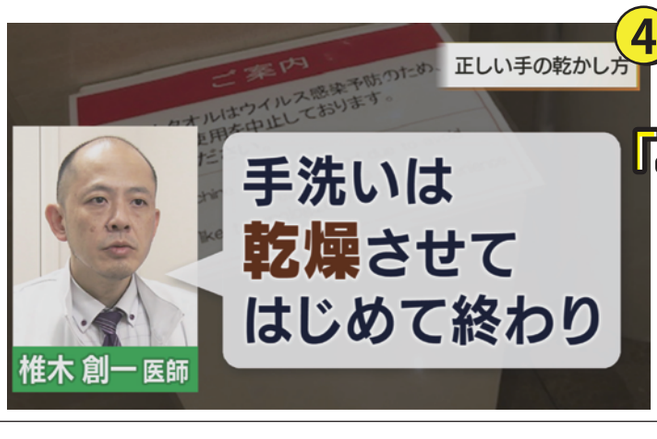
③



	長所	短所
ハンドドライヤー	乾燥させやすい	ウイルス飛散のおそれあり
ハンカチ	ウイルス飛散のリスク小	使い続けると汚れたり濡れたりする

それぞれの長所と短所をまとめました。**ハンドドライヤー**の長所は「乾燥させやすい」。短所は「ウイルスを飛散させる恐れがある」。一方、**ハンカチ**。長所は「基本的には自分だけが使うものなのでウイルスを広げるリスクが低い」。短所は「使い続けると汚れたり濡れたりしてきちんと拭けなくなる」。湿っているとハンドドライヤーみたいにすっきり乾かせなくなるので▼複数枚持つ、▼自分専用のものを使う。こういったことが望ましいそうです。**【タオル】**家で手を乾かす時には家族でタオルを使いますが重要なのは、「発熱などの症状がある人がいるかどうか」。いる場合はその人専用のものを用意して、 ほかの家族とは分けましょう。そうでなければ１日に１度替える程度でよいとのことでした。

④



大事なのは「手洗いは乾燥させてはじめて終わり」

私たち一人ひとりが意識して、
しっかり手を乾かしましょう。